

# 『World Forum for Medical Device in KANSAI 2011』

近畿経済産業局  
大阪商工会議所

関西では、医療機器、診断機器、計測分析機器等の開発促進を目的とした活動がここ数年活発となっており、具体的な成果もあがりつつあります。こういった事情を背景に、医療機器開発におけるオープンイノベーションを促し、革新的な医療機器開発や具体的なビジネスを創出するため、国内外の様々な企業等のアライアンスを促進する事業「World Forum for Medical Device in Kansai 2011」を開催いたします。

同事業は、基調講演として国内外の大手医療機器メーカーのキーパーソンによるスピーチのほか、国内の中小製造業や欧米のユニークな技術・ビジネスモデルをもつ医療機器関連企業のプレゼンテーション及び個別面談等で構成されます。また、欧米先進地域における医療機器開発の取り組みや国際連携の在り方、日本企業の強み等に関するパネルディスカッションのほか、日本企業がグローバルに医療機器産業に取り組む際の実務的な課題について欧米先進地域に学ぶノウハウセミナーも実施いたします。

先着順でお申し込みをお受けいたします。お早目のお申し込みをお願い申し上げます。

## ■開催概要

日 時：2011年2月22日（火）10:00～18:30  
2月23日（水）10:00～18:30

場 所：ブリーゼプラザ（大阪・西梅田）7階 小ホール  
（※プレゼンテーション企業との個別面談は8階 801～805会議室で開催）  
〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー  
<http://www.breeze-plaza.com/map/index.html>

主 催：近畿経済産業局、大阪商工会議所

協 力：バイオビジネス・アライアンス・オブ・ミネソタ（BBAM）  
日本医療機器産業連合会、財団法人医療機器センター、NPO 法人医工連携推進機構、  
米国医療機器・IVD 工業会、欧州ビジネス協会（EBC）

後 援：駐大阪・神戸アメリカ総領事館、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、  
在大阪英国総領事館

参加費：無料（但し昼食交流会は2000円/人。要事前申込み/当日現金にて徴収）  
※昼食交流会は定員に達しましたので、お申込みを締め切らせていただきました。

定 員：250名定員に達したため、受付終了させていただきました。

締 切：2月4日（金）但し、定員に達し次第、申込を締め切らせて頂きます。

プログラム：講演、プレゼンテーションセミナー、パネルディスカッション、個別面談、交流会

言 語：日-英（同時通訳付き）[講演・プレゼンテーションセミナー・パネルディスカッション]

参加申込：別紙の参加申込書に記入の上、FAXにてお申込みください。

その他：①参加証は発行いたしませんので、申込後、直接会場にご参集ください。

②すべてのプログラムにおいて、申込多数の場合、1社・機関あたりの参加人数を制限させて頂く場合がございます。また、個別面談は申し込み多数等の場合、アレンジできないことがあります。予めご了承ください。

 本事業は競輪の補助金を受けて実施しています

**同時開催**（22日、23日の大阪における全体フォーラムの他、下記事業を実施します）

①英国ヘルスケアセミナー（2月21日（月）@ヒルトン大阪、在大阪英国総領事館主催）

<詳細は後日別途ご案内いたします。お問い合わせ等は直接英国総領事館

(Email:medic-seminars.osaka@fco.gov.uk)までお願い致します。>

②海外から招聘した企業向けに、21日・大阪、24日・神戸、25日・京都におきまして、医療機器開発拠点として重要な施設や大学、研究所、企業等を訪問し、関西のポテンシャルに関する認識を深めていただくプログラムを実施いたします。

<<お問い合わせ>>

大阪商工会議所 経済産業部 ライフサイエンス振興担当

tel: 06-6944-6484 fax: 06-6944-6249 e-mail: bio@osaka.cci.or.jp

■スケジュール（予定）：\*下記プログラムは変更になる可能性があります。予めご了承ください。

2月22日（火）10:00～18:30

◇基調講演・企業プレゼンテーション・パネルディスカッション（@7階小ホール）

10:00	オープニング ・大阪商工会議所次世代医療システム産業化フォーラム 座長代表 楠岡 英雄 氏（国立病院機構大阪医療センター院長） ・近畿経済産業局 地域経済部長 国吉 浩 氏
10:10-11:15	基調講演① 「グローバルマインドセット」 ボストン・サイエンティフィックジャパン 代表取締役社長 モーリック・ナナバティ氏
11:30-12:30	企業プレゼンテーション（4社予定。1社15分）※詳細は別紙参照 ■Boston Scientific Corporation（米国・ボストン） ■Invetech Pty. Ltd.（オーストラリア・メルボルン） ■Brown Medical Industries, Inc.（米国・アイオワ） ■Burster Asia Pacific Representative Office（ドイツ）
13:20-14:00	主催者挨拶 大阪商工会議所 会頭 佐藤 茂雄 特別講演 「大阪・関西におけるメディカルポリス構想について（仮題）」 大阪商工会議所 副会頭 手代木 功
14:00-16:00	パネルディスカッション 「日本企業は医療機器ビジネス分野でどうすれば成功するのか～海外企業からみた日本企業の強みと弱みは何か、具体的な海外企業との連携の仕方は～（仮題）」 <モデレータ> 国立循環器病研究センター研究開発基盤センター長 研究所副所長 妙中義之氏 <パネリスト> ・BioBusiness Alliance of Minnesota CEO Dale Wahlstrom 氏(米国) ・Contec GmbH Chairman Detlef Friedrich 氏（ドイツ） ・財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所 客員研究員 日本の技術をいのちのために委員会 理事・事務局長 日吉 和彦 氏（日本） ・山科精器株式会社 代表取締役社長兼CEO 大日 常男 氏（日本） ・東レ株式会社 医療材事業企画推進室 室長 板垣 一郎 氏 日本化学繊維協会「繊維素材分野の異業種連携での技術開発・用途開発等に係る先行事例の調査（平成22年度経済産業省委託事業）」米国現地調査 担当主査
16:00-18:30	企業プレゼンテーション（10社予定。1社15分）※詳細は別紙参照 ■Assistive Medical Equipment Corp.（米国・シカゴ） ■Johnson Matthey Japan Inc.（米国・ペンシルバニア） ■サンユレック株式会社（大阪府高槻市） ■吉川化成株式会社（大阪市鶴見区） ■トクセン工業株式会社（兵庫県小野市） ■トラストメディカル株式会社（兵庫県加西市） ■株式会社クリノ（宮城県仙台市） ■林精器製造株式会社（福島県須賀川市） ■株式会社朝日ラバー（埼玉県さいたま市／工場：福島県） ■ユースエンジニアリング株式会社（愛媛県新居浜市）

◇プレゼンテーション企業との個別面談（@8階 801～805会議室）

2月23日(水) 10:00~18:30

◇基調講演・企業プレゼンテーション・ノウハウセミナー (@7階小ホール)

10:00	来賓挨拶 駐大阪・神戸アメリカ総領事館 総領事 Edward K.H. Dong 氏
10:10-11:15	基調講演② 「富士フィルムの医療機器事業について」 富士フィルム株式会社 フェロー 阿賀野 俊孝 氏
11:30-12:00	企業プレゼンテーション(2社予定。1社15分) ※詳細は別紙参照 ■chip GmbH / TGR GmbH (ドイツ・NRW州) ■Gnarus Medical Consulting, Inc. (米国・ミネソタ)
12:00-13:00	【昼食交流会(名刺交換会)】 場 所: 旬和席 うおまん 西梅田本店(ブリーゼブリーゼ6階) 参加費: 2000円/人(定員80名、企業関係者優先) -[要事前申込み/参加費は当日現金にて徴収させていただきます]- <i>※昼食交流会は定員に達しましたので、お申込みを締め切らせていただきました</i>
13:00-15:15	企業プレゼンテーション(9社予定。1社15分) ※詳細情報は別紙参照 ■Philips Electronics Japan, Ltd. (オランダ) ■Devicix, LLC (米国・ミネソタ) ■Lake Region Medical (米国・ミネソタ) ■Fredrikson & Byron Attorneys (米国・ミネソタ) ■株式会社スズキプレシオン(栃木県鹿沼市) ■株式会社ダイニチ(岐阜県可児市) ■原田車両設計株式会社(愛知県みよし市) ■株式会社日本ステントテクノロジー(岡山県岡山市) ■ナカシマメディカル株式会社(岡山県岡山市)
15:30-18:30	ノウハウセミナー <モデレーター> 国立循環器病研究センター研究開発基盤センター長 研究所副所長 妙中 義之 氏 <セッション1>15:30-17:00 「PL 法はじめ日本企業が安心して海外の医療機器産業に参入するためには(仮題)」 ・Fredrikson & Byron Attorneys Ryan Johnson 氏 ・財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所 客員研究員 日本の技術をいのちのために委員会 理事・事務局長 日吉 和彦 氏 <セッション2>17:00-18:30 「Doing Business with US Companies(仮題)」 ・Simplicity Partners President Scott Webb 氏 ・St. Jude Medical, Inc. Vice President, Market Development, International Division David Smith 氏 ・財団法人医療機器センター 医療機器産業研究所 客員研究員 日本の技術をいのちのために委員会 理事・事務局長 日吉 和彦 氏

◇プレゼンテーション企業との個別面談 (@8階 801~805会議室)

# 「World Forum for Medical Device in KANSAI 2011」 参加申込書 (2月22日~23日開催)

※ご記入頂いた情報は、大阪商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用するのをはじめ、講師に参加者名簿として配布します。ご了解の上ご記入ください。

## (1) 参加者情報

会社名(日)		会社名(英)	
参加者名(和)		参加者名(英)	
部署・役職名(和)		部署・役職名(英)	
住所	〒 -		
TEL		FAX	
E-mail			

## (2) 参加プログラム(参加される時間帯全てに○を付けてください)

~~( ) 2月22日(火) 午前~~ ( ) 2月22日(火) 午後

~~( ) 2月23日(水) 午前~~ ( ) 2月23日(水) 午後

※定員に達しましたので、お申込みを締め切らせていただきました。

## ~~(3) 2月23日(水) 12:00~13:00 昼食懇談会(名刺交換会)~~

~~場 所: 旬和席 うおまん 西梅田本店(フリーゼフリーゼ6階)~~

~~参加費: 2000円/人(要事前申込/定員80名(企業関係者優先)/参加費は当日現金徴収)~~

~~( ) 参加する ( ) 参加しない~~

※昼食交流会は定員に達しましたので、お申込みを締め切らせていただきました。

## (4) 個別面談希望(個別面談を希望される企業に○をつけてください。)

### ■2月22日(火) プレゼン企業

- |                                       |                     |
|---------------------------------------|---------------------|
| ( ) Boston Scientific Corp.           | ( ) 吉川化成株式会社        |
| ( ) Invetech Pty. Ltd.                | ( ) トクセン工業株式会社      |
| ( ) Brown Medical Industries, Inc.    | ( ) トラストメディカル株式会社   |
| ( ) Burster Asia Pacific Rep. Office  | ( ) 株式会社クリノ         |
| ( ) Assistive Medical Equipment Corp. | ( ) 林精器製造株式会社       |
| ( ) Johnson Matthey Japan Inc.        | ( ) 株式会社朝日ラバー       |
| ( ) サンユレック株式会社                        | ( ) ユースエンジニアリング株式会社 |

### ■2月23日(水) プレゼン企業

- |                                     |                      |
|-------------------------------------|----------------------|
| ( ) chip GmbH / TGR GmbH            | ( ) 株式会社スズキプレシオン     |
| ( ) Gnarus Medical Consulting Inc.  | ( ) 株式会社ダイニチ         |
| ( ) Philips Electronics Japan, Ltd. | ( ) 原田車両設計株式会社       |
| ( ) Devicix, LLC                    | ( ) 株式会社日本ステントテクノロジー |
| ( ) Lake Region Medical             | ( ) ナカシマメディカル株式会社    |
| ( ) Fredrikson & Byron Attorneys    |                      |

### 【個別面談ご希望の企業様へ】

※面談当日は、貴社事業・商品・技術内容に関する資料(英文資料)やサンプル等をご準備ください。(海外企業との面談は日⇄英逐次通訳付)。個別面談の時間帯は別途調整の上、ご連絡させていただきます。

※個別面談にご参加いただく皆様には、簡単なアンケートにご協力いただきたく存じます。個別面談に対する満足度および簡単な商談内容等をご教示願います。なお、ご記入いただいた情報は適切に管理の上、事業活動の評価及び業務改善、事業フォローアップのためにのみ利用します。

※個別面談は申し込み多数等の場合、アレンジできないことがありますことを予めご了承ください。

## ★プレゼンテーション企業 詳細情報

【2月22日(火)】

**Boston Scientific Corporation (米国・ボストン)** <http://www.bostonscientific.jp/home.bscli>

心血管治療、不整脈・心不全治療、心臓電気生理学治療、腫瘍治療、消化器疾患治療、泌尿器疾患治療、婦人科治療、神経刺激治療分野における、最新のインターベンションによる低侵襲(身体に傷をつける度合いの低い)医療機器の世界的メーカー。同社既存製品に関係する製品(例:ガイドワイヤー、カテーテル、シース等)の開発に関連したサービスを行う。

(出展目的) 共同開発・ライセンス生産(OEM)

(面談希望先) 上記製品開発または製造業者

**Invetech Pty. Ltd. (オーストラリア)** [www.invetech.com.au](http://www.invetech.com.au)

世界中の臨床検査薬、医療機器、ライフサイエンス、創薬および製薬企業と取引のある設計、エンジニアリングおよび製造におけるグローバル企業。30年以上もの医療機器開発と自動化ソリューションの実績において、同社の顧客は創業間もない企業から多国籍企業にまで及び。5,000以上ものプロジェクトの実績を持ち、製造装置、機器、消耗品、特注自動化システムを開発製造する200人以上の設計者、製作者、科学者、製造のエキスパートを抱え、統合的アプローチと幅広いスキルにより、ターンキーシステムの開発と製造を行っている。同社の強みは製品のコンセプト開発から製造まで、製品ライフサイクルを超えたスキルの領域である。過去3年にわたり、日本市場で徐々に顧客層を築き、その地域の知識を蓄積している。またお客様が世界市場で成果を収められるブレイクスルーとなる製品を開発できるようサポートしている。

【医療機器設計、製作の実績】

患者モニタリング、ドラッグ・デリバリー装置、輸液ポンプおよびドラッグデリバリーシステム、外科システムおよび低侵襲性装置、血液処理システム、細胞療法システム、家庭用医療製品、歯科用品、画像システム

【設計、製作、製造能力】

FDA QSRに順守した製造開発プロセス、ISO 13485を取得した製造サービス、工業デザイン、人間工学、製造可能性と自動化設計、製品製作・分析・テスト、法令順守、生産準備、大規模受託生産

(出展目的) 共同開発

(面談希望先) 開発課題や製品コストの課題を抱えている、もしくは世界中への製品導入を計画しているが設計を適切に更新する際にサポートを必要としている日本の医療機器企業

**Brown Medical Industries, Inc. (米国・アイオワ)**

<http://www.brownmed.com> <http://www.imakproducts.com> <http://www.seal-tight.com>

1965年創業。アメリカ中部で革新的な医療製品を設計、製造し、世界中に販売。強固なマーケティングツール(ポスター、販売グッズ、販売マニュアル、パンフレット、ホームページ、売上データ、マーケティングリサーチ、展示会)により圧倒的な顧客サポート体制を構築。ISO 9001、CE マーキング、FDA 承認、そして SFDA 承認取得。好評な製品ラインの中には SEAL-TIGHT のギプス包帯とその防水キットがある。創業以来売れ行き好調な製品として Plastalume® 指用スプリント(副子)、手、腕、足用スプリント(副子)、WrisTime®手根管サポーター、日常用の柔らかい履き心地を実現する靴の中敷き、そして便利で効果的な密封式寒冷療法用アイスとストレッチ素材のサポーターがある。新製品は踵の痛みや足裏の筋膜炎に最近注目し、数カ月一度発表。日中、夜用の足裏の筋膜炎を軽減させる Nice Stretch 90、Nice Stretch Original、Nice Stretch X、Nice Stretch X Lite、Nice Stretch Dorsal そして Nice Stretch Sport をはじめとする消耗性疾患を手当てする6種類の夜用スプリント(副子)がある。2010年1月には痛みを軽減する IMAK という商品ラインを発表。この独自のサポーターは一日中装着するもので、画期的な快適さを実現。また人間工学的にコンピューターで正確に裏付けされた、今日の需要に沿った商品でもある。

(出展目的) 日本での商品拡販

(面談希望先) 実績のある販売店(医療商品の販売代理店—整形外科/手足治療/薬局/小売、オフィス用品販売代理店—PC アクセサリー)。

**Burster Asia Pacific Representative Office (ドイツ)**

<http://www.burster.jp> <http://www.burster.com>

精密さ、品質、多用途性を重視。ドイツ以外にもワールドワイドで精密機器、センサー、センサー信号処理システムを展開する主要サプライヤー。品質保証、キャリブレーション(校正)、研究開発、自動化用の計測、テスト機器を扱う。注文設計にも対応。取扱製品は、電気抵抗計測機/オーム計、電氣的値、熱値と力学量値のキャリブレーション機器、センサーと処理機器。

(出展目的) ライセンス生産(OEM)・日本での商品拡販・資金調達

(面談希望先) システムインテグレーション・商社・品質管理機器を必要とする製造業

## Assistive Medical Equipment Corp (米国・シカゴ) <http://www.assistiveme.com/>

高齢者と障害者向け医療用具を設計、製造。FDA承認の製造設備を所有。EZRock™ Patient Transfer System (特許出願中)を使うと看護師一人で250ポンド(114キログラム)の患者を移動させることができる。それにより看護師の腰を痛めるリスクと患者を転落させてしまうリスクを軽減することができ、また、患者が足に体重をかける負担がなくなる。EZRock™ は可動式のため、様々なシーン(ホームケア、看護施設、病院)で利用可能。  
(出展目的) ライセンス生産(OEM)・日本での商品拡販・資金調達  
(面談希望先) 医療機器(OEM)

## Johnson Matthey Japan Inc. (米国・ペンシルバニア) <http://www.immedical.com>

触媒、化学製品、貴金属をコアコンピタンスとする、30カ国でビジネス展開するグローバル企業。同社グループの一社であるJMメディカルが血管、電気生理学、心臓病学、神経刺激、整形外科、内視鏡市場において医療機器を扱う企業向けに部品と原材料を製造。貴金属合金(プラチナ、パラジウム、イリジウム、金など)とニチノールの工業用原材料(シート、ワイヤー、チューブ)、これら原材料を使用した機械加工部品とその他原材料を扱う。ビジネス領域はスイスクリューとEDM(放電加工機)のマイクロマシニング、窒化チタン皮膜、レーザー切断、貴金属チューブ切断、ニチノール形成、合金開発と精製。  
(出展目的) 部品供給先開拓  
(面談希望先) 医療機器メーカー

## サンユレック株式会社(大阪府高槻市) <http://www.sanyu-rec.jp/>

今や合成樹脂は、エレクトロニクス、自動車そして建築・土木分野などあらゆる産業に利用しているが、その要求性能は日々レベルアップしている。そこで必要になるのが、経験と観察力を生かしたフォーミュレーターとして最大限の性能を引き出す配合技術力と、それを実現化する生産技術力である。そしてお客様に満足をして戴く。それが同社のおもてなしの心と考えている。同社は、過去つちかわれた電子部品、半導体やLEDの封止樹脂、安全性の高い水処理フィルター用接着剤や炭素繊維樹脂シートなどの技術を今後、医療機器の分野(新規開発・改良)でも活用したいと考えている。

(参考資料) [サンユレック株式会社の紹介](#) クリックすると閲覧できます。

## 吉川化成株式会社(大阪市鶴見区) <http://www.ypc-g.com/index.html>

プラスチック加工のパイオニアとして創業から60年間にわたり、射出成形加工技術向上に取組み、あらゆる分野で社会貢献に努めている。医療分野においてはお客様の製品コンセプトを確認し、信頼性が高く安全にお使い頂けるデバイス開発を目標に設計開発支援から滅菌を含めたOEM製造受託まで対応している。更に各種安全性や信頼性試験、バリデーション等を行い、薬事申請までの一貫サービスを行っている。医療機器製造販売業として大阪とマレーシアに生産拠点をもち、価格や供給などお客様のあらゆるニーズに対応している。

(参考資料) [医療機器のOEM受託サービス](#) クリックすると閲覧できます。

## トクセン工業株式会社(兵庫県小野市) <http://www.tokusen.co.jp/>

“世界一の特殊金属線のスペシャリストを目指して”をモットーに、色々な市場にワイヤとその技術を通じて貢献している。自動車業界で培われた、強靱性・耐久性・形状の精度と正確さを持つタイヤの補強線、ピストンリング用線。半導体や太陽電池業界で求められる、さらに細く強く、800Kmの長手に渡り一切の欠陥を許されないウエハスライス用ソーワイヤなど、時代のニーズに先端の技術で対応してきた。これらの技術を医療機器市場に貢献すべく、ガイドワイヤ・カテーテルなどの低侵襲治療具、内視鏡のためのワイヤを生産しているが、対応できる分野は無数にあると考えている。

## トラストメディカル株式会社(兵庫県加西市) <http://www.trustmedical.jp/>

臨床診断分野の最先端インフラ技術を網羅的に研究する企業。遺伝子分野では、世界最速レベルのPCR装置と、迅速な前処理法と検出技術の機器とキットを開発・販売。抗体分野では、金コロイド法による従来型イムノクロマトのほかに、蛍光や発光を利用した高感度化を研究している。その他診断機器としては、HA1c+グルコースの同時測定装置、安価な蛍光顕微鏡システムなどがある。

(参考資料) クリックすると閲覧できます。

[超高速PCR UR104](#)

[超高速RT-PCRを用いたインフルエンザA型の検出\(MK4H2-2\)](#)

[診断薬および研究試薬の開発・製造受託](#)

## クリノ株式会社(宮城県仙台市) <http://www.clino.org/>

東北大学発ベンチャー企業で4事業(細胞呼吸測定装置、ステント、アルツハイマー病診断プローブ、人工膵島)の医療機器開発及び製造販売を行っている。細胞呼吸測定装置は、不妊治療(選択的単一胚移植)の受精卵活性度を数値化し、妊娠率向上を可能にする世界唯一の診断装置で、既に10台以上の販売実績があるが、更なる事業拡大への開発及び販売のパートナーを探している。ステントは、Co-Cr合金、Ni-Ti合金の高耐久化、薄肉化、高表面平滑化を目的に独自のチューブ加工、レーザ加工及び研磨加工を開発中で、OEM事業又は技術供与等の実現を図っており、既に高品質低価格チューブ販売、OEM研磨加工等は対応可能。

## 林精器製造株式会社（福島県須賀川市）<http://www.hayashiseiki.co.jp/index.html>

医療器具向けステンレス鋼の改質技術。ステンレス鋼を使用する医療器具には、耐食性が優先するときはオーステナイト系のものを、硬度・強度を優先するときはマルテンサイト系のものが選ばれている中、高い耐食性と高硬度・高強度を同時に備えているステンレス鋼は今まで実用化されていない。同社は、福島県ハイテクプラザとの共同研究によりステンレス鋼に適切な量の窒素を固溶させることで耐蝕性と硬度・強度を同時に向上させる技術を開発し、量産化を目指している。同社はこの技術により、医療器具における従来のステンレス材料の特性を改善し、強く・硬く・錆びにくい材料を開発。

（参考資料）クリックすると閲覧できます。

[林精器製造株式会社の紹介](#)

[精密機器のための微細溶接技術による製品開発](#)

[窒素吸収によるステンレス鋼の高機能化技術の応用製品開発](#)

[AL アドバンス処理\(アルミニウム特殊陽極酸化処理\)紹介](#)

[アルミ特殊陽極酸化処理「AL アドバンス処理」について](#)

## 株式会社朝日ラバー（埼玉県さいたま市／工場：福島県）<http://www.asahi-rubber.co.jp/>

1970年創業以来、光デバイス向けの「ASA COLOR ブランド」を中心とした照明用ゴム製品、機能を追及した弱電用高精度ゴム製品、卓球ラケット用ラバーのスポーツ用ゴム製品などを製造している。

また医療用ゴム製品では、安全性に配慮したディスポーザブル製品を展開し、点滴輸液バッグ用ゴム栓や薬液混注ゴム栓なども製造しており、最近ではメディカル用シリコンゴムも手がけている。その他開発テーマとして、DNA チップ関連やIC タグ関連、異材質との複合化も取り組んでいる。

## ユースエンジニアリング株式会社（愛媛県新居浜市）<http://www.youtheng.co.jp>

ユースエンジニアリング（株）は、創立以来40年にわたってお客様の『欲しい』を『形』にすることを目指し、

- 1) 生産用FA機器の設計・製造、
- 2) 電子機器の設計・試作・小ロット生産対応、
- 3) SEあるいはエンドユーザー向けのマニュアル製作

の各分野で技術提供を続けている。

また近年は、半導体・液晶分野で培ったクリーン技術を応用したグルコース測定センサーの生産設備設計・製作をはじめ、バイオ診断前処理装置の設計・製造および、医療用補助機器のマニュアル作成など、医療分野での実績も豊富。生産設備からマニュアルまで、一貫した技術環境を提供してお客様の設計負荷削減を実現するワンストップソリューションを提供。

## 【2月23日（水）】

### chip GmbH / TGR GmbH（ドイツ）<http://www.chip-tzr.de> <http://www.tgr-bochum.de>

chip社とTGR社は、ドイツのポーフムにあるルール大学キャンパス内でハイテクビジネスのインキュベーション企業を管理し、ドイツと海外のハイテク企業の操業開始と起業の両方をサポート。ポーフムはライフサイエンス企業にとって重要な位置で、「Gesundheitscampus NRW（NRW州ヘルスキャンパス）」の開催地でもある。事業領域は、①「ルールテクノロジセンター」と「バイオメディカルセンター ポーフム」でビジネス機会を判断するための短期間のオフィス、ラボ、製作スペースのリーシング、②規制、市場、経営、金融などの側面でのコンサルティング、③研究、産業、健康保険、協会などの関係者とのコンタクト、④人材募集のサポート。

（出展目的）市場参入サポート・ドイツでの商品拡販支援・臨床試験へのアクセス支援・CEマーキング、各規制へのアプローチ支援

（面談希望先）欧州、ドイツでのヘルスケア市場への参入したい（ドイツ拠点の開始計画など）、商機/協力先（例えば病院、販売店、ライフサイエンス会社）を捜したい日本企業全般。

### Gnarus Medical Consulting（米国・ミネソタ）

ヘルスケア市場向け新製品と原材料の商業化をサポート。27年間の臨床業務（アカデミアで17件）で得た専門性、11年間フォーチュン500医療機器企業に選出、米国ウォートンビジネススクールでのビジネストレーニング、以上の経験を駆使し、研究開発、臨床/規定、製品マーケティング、市場開発、事業開発、テクノロジーアセスメントおよびプロフェッショナルリレーションの領域で顧客をサポート。協力的な戦略計画およびプロジェクト実行も行う。ヘルスケア市場の“全体像”を把握し、多岐に亘る分野における課題解決を実行できることは、同社の卓越した特徴である。顧客は、医療分野に携わる医療機器会社、材料メーカー、ベンチャーキャピタル/投資会社他。

（出展目的）米国での医療製品の商業化（開発、上市、サポート）

（商談希望先）米国で商品導入に関心のある企業、米国のデバイス市場に供給できる原材料を扱う企業

## Philips Electronics Japan, Ltd. (オランダ) [www.philips.co.jp](http://www.philips.co.jp)

当社は、みなさまの豊かな生活のために常に革新的でありつづけ、健康と満ち足りた生活を提供したいと願うHealth & Well-beingカンパニー。ヘルスケア、ライフスタイル、ライティング分野で世界をリードし、人を中心に据えたブランドプロミス“sense and simplicity”（センス アンド シンプルリティ）に基づき、常にお客様の視点に立ったテクノロジーとデザインを融合させたソリューションを提供。

(出展目的) 共同研究開発・ライセンス生産 (OEM)・市場開拓ライセンス生産 (OEM)

(面談希望先) 医療機器用部品製造供給業 (含む共同開発)、医療機器販売業取得国内医療機器販売業、照明・健康器具用部品研究開発・製造供給業及び照明・健康器具販売業等

## Devicix, LLC (米国・ミネソタ) <http://www.devicix.com/jp/index.htm>

当社は、ISO 13485および14971認証を取得し、複数分野を手がけるエンジニアリング会社として、革新的な設計ソリューションと総合的な製品開発サービスを提供。電気、機械、生物医学、最大級のプログラムでさえもサポートするソフトウェア工学を領域とするスタッフを含む30人以上の専門家を抱える。また同社には、コンプレックスバルーンからデリバリーカテーテルシステム、能動型埋め込み医療機器までを領域とする20年以上の医療機器開発の経験を持つスタッフを有する。医療機器産業を唯一の事業領域とし、多数の医療分野におけるクラスI、II、およびIIIの医療機器を開発。医療現場で使用される診断用機器、治療用機器、埋め込み医療機器、監視装置などはその一例。当社は、新規および大手医療機器メーカーのほか、医師、企業家、そして大学機関に最高の概念と製品開発に関する専門知識を提供し、競争の激しい複雑で厳しく規制されている今日のグローバル市場において、競争し、勝利を収めることを可能にする。また、企業のエンジニアチームとの協業ノウハウと、医療機器の承認ノウハウを持ち、また実績もある。開発後、当社の経験を積んだ製造チームと実績のある工程開発の方法でスムーズで効果的な大量生産のレベルに高めていく。

(出展目的) ①顧客向けの米国市場での承認獲得、②顧客のプロジェクトで大きな効果を得られるようなサプライヤーの探索

(商談希望先) 主に米国で製品の上市を考えている企業、技術と製品がまだ用意されていない企業、ほぼ製品開発されている企業で米国市場の承認を得たいと考えている企業

## Lake Region Medical (米国・ミネソタ) <http://www.lakergn.com/>

1947年設立。ペーシングリードコイルと精密機械加工製品からインターベンション、診断用のガイドワイヤや他の医療機器を展開するメーカー。心臓血管、血管内、神経血管用の侵襲性機器を専門とする医療機器OEMの世界的大手の一社に成長。FDA認証済の無菌診断用インターベンションガイドワイヤのOEMリーダーである。50カ国以上の市場で展開している。

(出展目的) ①日本での商品拡販：使い捨て医療器具（主にガイドワイヤ）、最小侵襲性器具（冠状動脈、末梢／血管内、神経血管用領域）

②共同開発：異種物質結合、心臓リズム障害の心外膜治療、冠状動脈、末梢／血管内、神経血管用領域における新たな技術

(商談希望先) 同社取扱領域における新たな医療器具技術の開発業者

## Fredrikson & Byron Attorneys (米国・ミネソタ) <http://www.fredlaw.com/index.htm>

同社は開発における全段階を通じて企業と投資家に助言している。クライアントは企業、知的財産、規制の問題を含め成長戦略に向けた統合的アプローチの方法に信頼を寄せている。業界リーダーから新興企業まで企業規模に関わらず、同社のアプローチはクライアントの戦略的ポジションの改善にフォーカスを当てている。同社は100以上のライフサイエンス企業、業界に関わる投資、戦略決定を含めるとそれ以上の企業の代理人を務めている。その経験と業界の有名かつ急成長企業とネットワークを持つことから、ライフサイエンス産業における主要な開発に関わっている。同社のチームはライフサイエンス企業をサポートする際、実践的な専門性と見識を備え、目的達成を促すことが良好な関係構築になると考えており、強い信頼関係を構築できることが同社の基盤となっている。素晴らしい関係を築くためには、仕事と法的プロセスに亘り、互いを一体化する必要があると考えている。そのためクライアントの近くで仕事を行い、相互利益を生む関係を築く。同社の関係構築にフォーカスした業務アプローチは、優れた対応力とサービスの提供、洗練された高品質な情報力、取引成立のための業界ネットワークの調整（法的業務ではなく）を含む。

(サービスライン)

①米国の医療機器、ライフサイエンス企業との供給、製造、販売契約の交渉

②米国の規制制度

③米国でのビジネスアドバイザー

(出展目的)

①共同開発、ライセンス生産 (OEM)、部品供給、原材料供給において、製造物責任や他のリスクが制限される  
とはいえ、日本のメーカーや医療機器企業の目的達成のために米国企業との契約交渉の方法を探りたい

- ②米国での臨床試験実施、FDA承認プロセスにおいて、FDA承認の獲得とアメリカでの臨床試験の実施をサポートできる方法を提供
- ③米国市場での商品拡販、資金調達において、米国でビジネスを行うための様々な選択肢（支店、子会社、ジョイントベンチャー）やその際に投資リスクを制限しリターンを最大化する方法、また資金調達の方法について提供。

（面談希望先）

- ①米国拠点の企業との供給、製造、販売契約を視野に入れている日本企業
- ②米国でFDA規制の商品製造、販売を視野に入れている日本企業
- ③米国市場への参入やプレゼンス向上を考えている日本企業

#### 株式会社スズキプレシオン（栃木県鹿沼市）<http://www.precion.co.jp/jp/index.html>

インプラントなどの医療機器分野を中心にチタン合金の切削加工に優れており、供給する部品は高精度かつ高能率加工で顧客より高い評価を得ている。ISO13485の認証を受けており、高い品質水準を保持。チタン加工関連技術では「識別用陽極酸化処理」「レーザーマーキング」「小径穴加工用ガンドリル（φ0.8-6.0）」など幅広く対応している。自社開発専用装置による加工や高精度鍛造メーカーとの共同開発による低コスト化の提案を始め、切削加工のみならず設計開発からサポートします。微細切削加工技術と微細溶接技術による最先端手術デバイス開発の実績がある。設計開発から試作、量産まで一環で対応可能。

#### 株式会社ダイニチ（岐阜県可児市）<http://www.kk-dainichi.co.jp/index.html>

「明日の日本を支える元気なモノ作り中小企業 300社」（07年）に選ばれた中小企業。そして、特にドリルによる穴開けを含む微細金属加工を得意とする。穴開けの最小径は 0.02mm。穴を開けた後、穴内の面粗度をあげるホーニング加工も得意。これで、穴の径が連続的に変化するクラウン加工も可能。医療関係では、カテーテル部品、脳外科手術用器具の実績がある。自社製品としては岐阜大学との共同開発によるセンサー付きロボットハンドがある。この製品は、手の平及び5本の指を有するロボットで、医療分野の応用としては、例えば乳癌の検診の訓練をバーチャルに行うものがある。

#### 原田車両設計株式会社（愛知県みよし市）<http://www.hvd.co.jp/index.html>

自動車部品に特化、3D-CAD を活用しシート、ワイヤハーネス、内外装樹脂部品、機能部品、モーターショー、制御開発をして来た。また、社内の3Dプリンターを活用したものづくりを生かし、インダストリアルデザイナーとの連携、ものづくりクラスターを創りネットワークで3D スキャン、MRI、CT などからデジタル化し樹脂、ゴム、金属、縫製、切削、溶接、塗装、メッキなどデザイン、構想から設計、ものづくり、振動試験までお客様の困り事に答える企業。これを生かして、ロボット外装、照明機器、大学の医学部と連携し疑似臓器開発や介護用品開発を始めている。三方善し、を掲げ「原田車両設計に頼んでよかった」とお客様に喜んで頂ける仕事を心掛けている。

（参考資料）[原田車両設計株式会社の紹介](#) クリックすると閲覧できます。

#### 株式会社日本ステントテクノロジー（岡山県岡山市）<http://www.istentech.com/>

大学発ベンチャー企業として産学官連携を基本体制とし、心筋梗塞や狭心症などの原因となる心臓の狭くなった血管（冠動脈）を物理的に広げて血流を改善するために用いられる冠動脈用ステントの事業化に取り組んで来た。そして2003年の起業から7年目となる2010年1月、欧州でベアメタルステント(MOMO)の販売を開始するまでに成長。同社ステントは、独自の理論設計に基づき高度な微細加工と表面処理を施したもの。これにより他社を凌ぐ性能を有する高性能な製品を開発することに成功。

（参考資料）[MOMO Coronary Stent System](#) クリックすると閲覧できます。

#### ナカシマメディカル株式会社（岡山県岡山市）<http://www.medical.nakashima.co.jp/>

人工関節・骨接合用品等の整形外科用インプラントの開発・製造・販売を行う。同社は船用機器メーカーであるナカシマプロペラ(株)の曲面加工の技術を基に、1993年、医療事業室としてスタート。プロペラ製造で培った「最適創造」の精神を引き継ぎ、日本人に最適な人工関節を生産。2008年にはナカシマメディカルとして独立し、同年に国から先端医療特区にも指定された。同社は人工関節に使用する素材やナビゲーションシステム、手術支援ロボットの研究開発にも取り組んでおり、2010年には日本初のビタミンE入り超高分子量ポリエチレン「ブレンドーE」を発売した。

（参考資料）クリックすると閲覧できます。

[BLEND-E](#)

[FINE](#)

[ナカシマメディカル株式会社沿革](#)